第53回　日本分娩監視研究会プログラム

当番幹事　兵藤 博信

日時：2019年6月22日（土）13:00～17:00（12:30　受付開始）

会場：ユートリヤ（すみだ生涯学習センター）

（東京都墨田区東向島2-38-7：京成曳舟駅・東武曳舟駅　各徒歩5分）

13:00　開会挨拶　当番幹事　東京都立墨東病院産婦人科　部長　兵藤博信

13:05 — 14:05　講演１

セントラルモニタリング　―分娩監視システムを遠隔集中治療システムと比較して―

座長　東京都立墨東病院産婦人科　部長　兵藤博信

講師　昭和大学医学部麻酔科学講座　主任教授　大嶽浩司

休　憩

14:15 — 15:15　講演２

分娩監視モニターの読み方と対応

座長　日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野　准教授　小松篤史

講師　長野県立こども病院産科　部長　吉田志朗

15:15 — 15:30　総会

休　憩

15:40 — 16:55　一般演題

座長　東京都保健医療公社豊島病院　部長　坂巻 健

中林病院助産師学院　副学院長　兵頭慶子

1) ローリスク妊婦の満期産における遷延徐脈

大原綜合病院　山形遥香（助産師）、他

2) 基線の判読に苦慮した事例の分娩方針について

昭和大学江東豊洲病院　佐藤瑞紀（助産師）、他

3) 母体心拍数が胎児心拍数の波形様であり判別が困難であった子宮内胎児死亡の症例

東京都保健医療公社荏原病院　市野順子（助産師）、他

4) 連続モニタリングするも医療介入に踏み切れなかった重症新生児仮死の一例

昭和大学病院　林 美緒（助産師）、他

5) 胎児心拍数波形異常から一絨毛膜二羊膜双胎の隔壁羊膜穿破および臍帯相互巻絡を疑い管理した２例

東京都立墨東病院　彦坂慈子（医師）、他

6) 経会陰超音波を用いた回旋異常の診断と、Kielland鉗子を使用した６症例の検討

東京大学医学部附属病院　女性診療科・産科　望月奈緒子（医師）、他

7) 助産師が経会陰超音波をやってみた！　―超音波技術の習得過程の検証―

東京大学医学部附属病院　女性診療科・産科　門脇 唯（助産師）、他

8) ルビン法で娩出が困難であった肩甲難産の２例

順天堂大学　竹田 純（医師）、他

16:55　閉会

・ 次回当番幹事挨拶　愛育病院産婦人科　部長　山下隆博

静岡県立大学大学院看護学研究科　准教授　石川紀子

・ 閉会挨拶　当番幹事　東京都立墨東病院産婦人科　部長　兵藤博信